[経済学科 2016年度以降入学生 卒業所要単位表]

科目区分	区分	2	卒業に必要	要な単位		
基礎教育科目	入門ゼミ	必 値	×	4 単位		4 単位
	第一外国語	必 値	· ·	6 単位		
外国語科目	第二外国語	必 低	×.	6 単位		
	選択科目		自由選択			
促健床去乳日	スポーツ総合	必	修	2 単位		
保健体育科目	スポーツ種目		自由選択			
総合教育科目		選択必修	26	6単位以上		
	必修科目	4 単位				
	選択必修科目 (1年次配当科目)	12単位以上				120 単位 以上
	選択必修科目 (2年次配当科目)	12単位以上	32単位	60単位		
専門教育科目	選択必修科目 (3・4年次配当自分野)	8 単位以上	以上	以上	76単位 以上	
	選択必修科目 (3・4年次配当他分野)					
	選択科目					
	自由科目					
卒業所要	夏単位合計		124単位	以上		

[※]外国語科目+保健体育科目+総合教育科目+専門教育科目の単位数を合算しても116単位 にしかならないことに注意。120単位を満たすためには、外国語科目、保健体育科目、総 合教育科目、専門教育科目の区分で最低単位数以上の履修が必要になる。

経済学科 2016年度以降入学生

VI. 科目履修基準

1. 各年次の科目履修基準

						専門教育科目	教職・	資格科目			
	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	必修科目	選択必修 選択科目 自由科目	割 教職科目	※1資格科目			
1 年 次	11~14ページ 参照	スポーツ総合A/B	16ページ参照	入門ゼミA/B	経済学入門 A/B	26ページ 参照					
生	8科目・8単位	2 単 位	10 単 位	4 単 位	4 単位	12単位	10単位				
	40単位制限内で登録										

		保健体育	公 公 對	甘雄粉杏		専門教育	 育科目			教職・資	資格科目	
	外国語科目	科目	科目	科目	必修科目	選択必修 科目	選択科目	自由科目	再履修科目	教職科目	※1資格科目	
2 年次生	11~14ページ 参照								1年次配当年 位の分にの単で を記り を記り を記り を記り できる。			
	4科目・4単位								加算8単位			
	40単位制限内で登録											
	64単位以内で登録											

		保健体育	公 公	甘冰粉杏		専門教育	育科目			教職・資	資格科目										
	外国語科目 '	科目 科目	科目	必修科目	選択必修 科目	選択科目	自由科目	再履修科目	教職科目	※1資格科目											
3 年 次 生									1・2年次配当 単位の未修得 単位分につい て左記の して に加算 して履 修できる。 加算8単位												
1	────────────────────────────────────																				
					- 64単位」	以内で登録	渌 ——														

		保健体育 総合教育		甘.琳.数.容		専門教育	育科目			教職・資格科目		
	外国語科目	科目	科目	科目	必修科目	選択必修 科目	選択科目	自由科目	再履修科目	教職科目	※1資格科目	
4 年												
次	※464単位以内で登録											
生												

- ※1 資格科目は、各年次64単位以内で履修できる。
- ※2 1年次には教職科目を最高履修単位に10単位まで加算して履修できる。
- ※。4年次では卒業所要単位に含まれる単位を4単位以上修得しなければならない(留級した場合は通算して4単位以上)。
- ※、4年次の教職科目については、各々履修単位に上限を設けていないため、4年次の最高履修単位に 24 単位を加算した範囲で履修することができる。

2. 年間最高履修単位

(1) 年間最高履修単位

- ① 各年次配当(通常年間最高履修単位)は9頁のとおり、1~4年次生とも40単位である。
- ② 再履修(各年次配当未修得単位)および教職科目を履修する2・3年次生は、 各年次配当単位に24単位を限度として加算した合計単位の枠内で履修できる。 ただし、再履修については8単位、教職科目の履修単位は24単位を限度とする。

(2) 再履修単位とその算出基準

再履修とは下級年次における配当単位(科目)のうち、①登録した科目を履修した結果、不合格(DおよびE評価)となった単位分 ②通常年間最高履修単位数まで登録せず、未履修(未登録)となった単位分について、その不足単位数を補填するために履修することを意味する。

再履修するにあたっては、3月上旬に情報ポータルサイトに発表される「成績通知書」で各自不足単位数(科目)を確認のうえ、下記の基準により再履修単位を確認すること。

年 次	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目
2年次生	(1年次]	配当単位合計:	40単位) - (修	得済卒業所要単位) ≦ 8単位
3年次生	(1・2年	次配当単位合計:	80単位) - (修	得済卒業所要単位) ≦ 8単位
4年次生	(1~3年	次配当単位合計:	120単位) — (修	得済卒業所要単位) ≦ 8単位

(3) 留級者の履修単位

ガイダンス期間に配布する「Web履修登録要領」にて、再履修について各自で確認すること。1年次生のみ「留級生ガイダンス」を行うので、留級生は必ず出席のこと。

※単位不足で3年次に留級となった者は、所定の履修単位制限内で履修できる。ただし、留年した3年次で卒業に必要な単位を修得した場合でも、4年次には4単位以上修得しなければならない。

[国際経済学科 2016年度以降入学生 卒業所要単位表]

科目区分	区分	卒業に必要な単位			
基礎教育科目	入門ゼミ	必 修 4 単位	4 単位		
	第一外国語	必 修 12単位			
外国語科目	第二外国語	必 修 6 単位			
	選択必修科目	選 択 必 修 2 単位			
保健体育科目	スポーツ総合	必修 2単位			
床 健 倅 自 行 口	スポーツ種目	自 由 選 択	120		
総合教育科目		選択必修 24単位以上	以上		
	必 修 科 目	4 単位			
専門教育科目	選択必修科目	20単位以上 62単位以上 70単位以上			
号门教月科日	選択科目				
	自 由 科 目				
卒業所要	単位合計	124単位以上			

[※]外国語科目+保健体育科目+総合教育科目+専門教育科目の単位数を合算しても116単位にしかならないことに注意。120単位を満たすためには、外国語科目、保健体育科目、総合教育科目、専門教育科目の区分で最低単位数以上の履修が必要になる。

国際経済学科 2016年度以降入学生

VI. 科目履修基準

1. 各年次の科目履修基準

					専門教	育科目		教職・	資格科目		
	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	必修科目	選択必修 科目	選択科目	自由科目	教職科目	※1資格科目	
1 年 次 4	59~63ページ 参照	スポーツ総合A/B	65ページ参照	入門ゼミA/B	英語で学 ぶ経済学 入門A/B		68 ページ 参照				
生	1 0科目・1 0単位	科目・10単位 2 単 位 8 単 位 4 単 位 4単位 12単位									
1											

		促.健.休.杏	総合教育	基礎教育		専門教育	 育科目			教職・資	資格科目	
	外国語科目	科目科目		本 (報刊) 科目	必修科目	選択必修 科目	選択科目	自由科目	再履修科目	教職科目	※1資格科目	
2 年次生	59〜63ページ 参照								1年次未にの 位分にの 位分にの を を が を で が に の り に の り に の り に の り に の し る し る し る し る し る し る ら る 。 る る る 。 る る 。 る 。 る る 。 る 。 る 。			
	8科目・8単位								加算8単位			
'	40単位制限内で登録加算24単位											
	└────────────────────────────────────											

		促.健.休杏	総合教育	甘雄粉杏		専門教育	育科目			教職・資	資格科目	
	外国語科目	科目	科目	科目	必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目	再履修科目	教職科目	※1資格科目	
3 年 次 生	59~63ページ 参照								1・2年次配当 単位の分にの単位 を記算して に加速で をできる。			
	2 単位								加算8単位			
	40単位制限内で登録											

		/D /th /L-tz /// \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		++- =++ += +-		専門教育	育科目		教職・資	資格科目		
	外国語科目	保健体育 科目	総合教育 科目	基礎教育 科目	必修科目	選択必修 科目	選択科目	自由科目	再履修科目	教職科目	※1資格科目	
4 年	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2											
次生	※464単位以内で登録											

- ※1 資格科目は、各年次64単位以内で履修できる。
- ※2 1年次には教職科目を最高履修単位に10単位まで加算して履修できる。
- ※。4年次では卒業所要単位に含まれる単位を4単位以上修得しなければならない(留級した場合は通算して4単位以上)。
- ※、4年次の教職科目については、各々履修単位に上限を設けていないため、4年次の最高履修単位に24単位を加算した範囲で履修することができる。

国際経済学科 2016年度以降入学生

2. 年間最高履修単位

(1) 年間最高履修単位

- ① 各年次配当 (通常年間最高履修単位) は57頁のとおり、1~4年次生とも40 単位である。
- ② 再履修(各年次配当未修得単位)および教職科目を履修する2・3年次生は、各年次配当単位に24単位を限度として加算した合計単位の枠内で履修できる。 ただし、再履修については8単位、教職科目の履修単位は24単位を限度とする。

(2) 再履修単位とその算出基準

再履修とは下級年次における配当単位(科目)のうち、①登録した科目を履修した結果、不合格(DおよびE評価)となった単位分 ②通常年間最高履修単位数まで登録せず、未履修(未登録)となった単位分について、その不足単位数を補填するために履修することを意味する。

再履修するにあたっては、3月上旬に情報ポータルサイトで発表される「成績通知書」で各自不足単位数(科目)を確認のうえ、下記の基準により再履修単位を確認すること。

年 次	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目
2年次生	(1年)	欠配当単位: 4	0単位)-(修得	済卒業所要単位)	≦ 8単位
3年次生	(1 • 2	年次配当単位: 8	80単位)-(修得	済卒業所要単位)	≦ 8単位
4年次生	(1∼3	年次配当単位:12	20単位)-(修得	済卒業所要単位)	≦ 8単位

(3) 留級者の履修単位

ガイダンス期間に配布する「Web履修登録要領」にて、再履修について各自で確認すること。1年次生のみ「留級生ガイダンス」を行うので、留級生は必ず出席のこと。

※単位不足で3年次に留級となった者は、所定の履修単位制限内で履修できる。ただし留年した3年次で卒業に必要な単位を修得した場合でも、4年次には4単位以上修得しなければならない。

〔現代ビジネス学科 2016年度以降入学生 卒業所要単位表〕

科目区分	区分	卒業は	こ必要な単位	
基礎教育科目	入門ゼミ	必修	4 単位	4 単位
	第一外国語	必修	6 単位	
外国語科目	第二外国語	必 修	6 単位	
	選択科目			
保健体育科目	スポーツ総合	必 修	2 単位	
术 使 件 月 代 日	スポーツ種目	自 由	120 単位	
総合教育科目		選択必修	22単位以上	以上
	必 修 科 目	4 単位		
 東	選択必修科目	24単位以上 661	単位以上 80単位以上	
専門教育科目	選択科目			
	自由科目		•	
卒業所要	単位合計	124	4単位以上	

※外国語科目+保健体育科目+総合教育科目+専門教育科目の単位数を合算しても116単位にしかならないことに注意。120単位を満たすためには、外国語科目、保健体育科目、総合教育科目、専門教育科目の区分で最低単位数以上の履修が必要になる。

現代ビジネス学科 2016年度以降入学生

VI. 科目履修基準

1. 各年次の科目履修基準

					専門教育科目				教職・	資格科目
	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	必修科目	選択必修 科目	選択科目	自由科目	教職科目	※1資格科目
1 年 次	105~108 ページ参照	スポーツ総合A/B	110ページ参照	入門ゼミA/B	企業と経済・ 基礎A/B		113 ページ 参照			
生	4科目・8単位	2 単 位	10 単 位	4 単 位	4 単位		12単位		10単位	
,	40単位制限内で登録 — 64単位以内で登録 — 64単位以内で登録 — 64単位									

		伊 .健 休 夸	公 ○ 数	基礎教育科目	専門教育科目					教職・資格科目	
外	外国語科目	保健体育 総科目	科目		必修科目	選択必修 科目	選択科目	自由科目	再履修科目	教職科目	※1資格科目
2 年次生	105~108 ページ参照								1年次記録 年次未にの分にの単て を記算して を記算して を記算して に修って にのがまる。		
	4科目・4単位								加算8単位		

		保健体育 総合教育		甘冰粉杏		専門教育	育科目			教職・資	資格科目	
	外国語科目	科目	科目	本 腱教育 科目	必修科目	選択必修 科目	選択科目	自由科目	再履修科目	教職科目	※1資格科目	
3 年 次 生									1・2年次配当 単位の未修得 単位分にの単位 て左記のして に加ぎる。 加算8単位			
'	────────────────────────────────────											
	64単位以内で登録											

		保健体育 総合教育 基础		其 專門教育科目					教職・資格科目		
	外国語科目	科目	科目	科目	必修科目	選択必修 科目	選択科目	自由科目	再履修科目	教職科目	※1資格科目
※34単位以上・40単位以内で登録 加算8単位											
次生											

- ※1 資格科目は、各年次64単位以内で履修できる。
- ※2 1年次には教職科目を最高履修単位に10単位まで加算して履修できる。
- ※3 4年次では卒業所要単位に含まれる単位を4単位以上修得しなければならない(留級した場合は通算して4単位以上)。
- ※、4年次の教職科目については、各々履修単位に上限を設けていないため、4年次の最高履修単位に 24 単位を加算した範囲で履修することができる。

2. 年間最高履修単位

(1) 年間最高履修単位

- ① 各年次配当(通常年間最高履修単位)は103頁のとおり、1~4年次生とも40単位である。
- ② 再履修(各年次配当未修得単位)および教職科目を履修する2・3年次生は、 各年次配当単位に24単位を限度として加算した合計単位の枠内で履修できる。た だし、再履修については8単位、教職科目の履修単位は24単位を限度とする。
- 2~4年次生で、〈再履修単位の合計が24単位を超える者〉は、その超過単位分について、年間 通常履修単位(40単位)の中から、それを振替えて履修することができる。

(2) 再履修単位とその算出基準

再履修とは下級年次における配当単位(科目)のうち、①登録した科目を履修した結果、不合格(DおよびE評価)となった単位分 ②通常年間最高履修単位数まで登録せず、未履修(未登録)となった単位分について、その不足単位数を補填するために履修することを意味する。

再履修するにあたっては、3月上旬に情報ポータルサイトで発表される「成績通知書」で各自不足単位数(科目)を確認のうえ、下記の基準により再履修単位を確認すること。

年 次	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目
2年次生	(1年次]	記当単位合計:	40単位) - (修	得済卒業所要単位) ≦ 8単位
3年次生	(1・2年	次配当単位合計:	80単位) - (修	得済卒業所要単位) ≦ 8単位
4年次生	(1~3年	次配当単位合計:	120単位) - (修	得済卒業所要単位) ≦ 8単位

(3) 留級者の履修単位

各年次のガイダンス期間に配布する「Web履修登録要領」にて、再履修について各自で確認すること。1年次生のみ「留級生ガイダンス」を行うので、留級生は必ず出席のこと。

※単位不足で3年次に留級となった者は、所定の履修単位制限内で履修できる。ただし留年した3年次で卒業に必要な単位を修得した場合でも、4年次には4単位以上修得しなければならない。